

# お豆の収穫

2022年5月



年中組の時に蒔いたソラマメと  
スナップエンドウを収穫しました。

はじめは、みんなが持って帰れるように  
「3つずつくらいかな？」  
「5つずつあるかな？」と数えながらの  
収穫でしたが…

見る見るうちにたくさんなったのでみんなでぜ～んぶん収穫しました。



蔓の中に隠れているお豆も見つけられるように、みんなで蔓も抜きました。

すると…

築山から長さ比べや  
魚釣り



お豆の蔓の電車



お豆の蔓の  
なわとび



蔓を使って  
いろいろな遊び方を見つける子供達でした！

みんなで絵を描きました

お豆は画用紙を  
切って作ったよ



## 年長組のこいのぼり



2022年5月



自分で好きな色を選んで作った  
カラフルこいのぼり。  
大きなビニール袋を使いました。  
画板からはみでちゃいました。

ビニール袋なので、はさみで切りにくい  
のですが、「しっぽを切りたい」と考えた  
お友達は少しずつ切ったり、袋を伸ばしな  
がら切ったり、工夫していました。



“眼”は墨で  
描きました



なかよしテラスの大屋根で  
気持ちよさそうに泳いでいます！

## 年中組の砂場

砂場で今年はじめて、裸足になる。  
足裏に感じるくすぐったさに  
思わず笑顔と笑い声が広がる。



暑くなってくると、水にも入りたくなる。  
もっと欲しくなって「お水ちょうだい！」って言ったら、  
友達が応えてくれた。

「つぎわたしも」  
「じゃあ、次はわたしがくんでくるね」

附属幼稚園の白砂は水加減で感触が変わる。  
「トロトロ」「プニプニ」「ペチャペチャ」…  
感じ方も子供たちそれぞれ。

でも友達が「タポタポ」って言うと、  
「ほんまや、タポタポや」って思っちゃうから不思議！



陽ざしの強い日は日よけの parasol も咲く。  
parasol がかかってない日なたの水に入った友達の  
「ここ、あったかい」の声。  
「入らせて… え、なんであったかいの～！」

日なたと影を行き来する子供たち…  
自分たちなりに感じて、考えて、  
言葉を紡ぎだしています。

## ねんちょうぐみ～6月の遊びから～



静かな表情でひたすら、さら砂を触っている子供の姿に出会うことがあります。「もっと遊びたいけど、お片付け…」  
「友達とけんかになっちゃった…」  
そんな自分の気持ちに向き合い、調和させようとしているのかな…。



子供達が見つけた「紙を水に混ぜる」遊び。  
(お家ごっこでジュースを作ろうとしていたようです。)

この遊びが友達から友達へと伝わって、いろいろな子ども達が試す場所となりました。

その後、「どうやってお片付けしよう」「紙をそのまま流せない」ということになり、ざるでこして置いておくことに。乾くと紙に戻って「帽子になった」と頭にのせて面白がる子ども達でした。



“たからのもり”で見つけたもの。子どもたちのセンスでこんなにステキ。

## ねんちょうぐみ～7月の遊びから～



子供達が見つけた「紙を水に混ぜる」遊びです。  
その後、泡立てた石鹸クリームの色付けに。  
全部、紙を混ぜて色をつけています！



三つ編み作りも楽しみました。出来上がった三つ編みを  
エクステにしておしゃれに変身



子供達の大好きなお菓子の“箱”。切ったり、貼ったり、創造意欲は膨らみます。

ワニさんになったり



食べ物の絵や写真を切り取ってお家  
ごっこの食料になったり



身の周りにある材料をステキに使いこなす子どもたちでした。

## ねんちょうぐみ こどもたちのSDGs



9月5日

コロナ禍のため、繰り返し計画変更を余技なくされた“夏のつどい”でしたが、子供たちはグループの友達とコーナー遊びを楽しみ、つながりを深めていました。



夏のつどいの日には出来なかった、ペットボトルの風鈴づくりをしました。  
油性ペンで好きな絵や模様を描いたり、色を塗ったり…



使い終わったペットボトル、こんな風に変身させることもできると楽しみました。



風に揺られ、光を透過し、なかよしテラスを素敵にしてくれています。  
自分の風鈴はもちろん素敵だけど、友達の風鈴、み～んな集まるともっともっと素敵になって、笑顔で見上げる子供たちでした。

## ねんちょうぐみ～蚕さんとの出会い～



滋賀大学のもりたろう先生と  
ZOOMでお話。

「蚕を育ててみませんか？」  
と尋ねられた子どもたちは、  
「育てる！」と元気に応えて  
いました。

蚕って？どんな幼虫？何を食べるの？その幼虫が大きくなると何になるの？

「？」が頭の中に浮かんだ子供たちは、たろう先生にいっぱい質問。質問に答えてもらって「そうなんだ～」とわかったこともあれば、やっぱりよくわからないこともありました。それでも、生きている蚕に出会い、育ててみることで気づいたり、感じたりすることがあるはず！というわけで、きく組、あやめ組に蚕さんがやってきました。

蚕は桑の葉しか  
食べないよ

桑の葉は幼稚園  
にもあるから探  
してみてね



初めはこんなに  
小さかった。



## 年中組のおさんぽ

秋晴れの日が続きます。  
あまりにも心地よいので幼稚園を飛び出し  
みんなでおさんぽに出かけました。



最初に出会ったのはサークル活動中のお家の人たち。  
「〇〇ちゃんのお母さんや！」  
「なにしてんの？」 興味しんしん、  
さっそくの寄り道です。

さあ、膳所キャンパス内をおさんぽです。



「いいもんみつけたっ！」



「なんかきこえる??」



「まつぼっくり！」「いーっぱい！」



大運動場で中学生のお兄さん・お姉さんの体育の授業を  
見せてもらったり、広いところでかけっこもさせてもら  
ったりして帰ってきました。



幼稚園に戻って、この日はみんなでお庭に出て  
ピクニック気分でお弁当を食べました。  
「友達と一緒に〇〇！」が楽しい、4歳のこの頃です。

## ねんちょうぐみ～10月の遊びから～



大根の種を蒔きました。滋賀大学のたろう先生にいただいた大根の種です。「ちっちゃ～！」と言いながら、落とさないように大切に蒔きました



いろいろな種を見つけています。“アサガオ”や“フウセンカズラ”など、知っている種もあれば、何かわからない種や、たからのもりで見つけた“実”もあって、「なんだろう？」と子ども達の好奇心が膨らみます。



おしろい花の種の中のおしろいを取り出して、遊んでいます。

「こうやったら取り出しやすいんだよ」と、種を小石でコンコンと叩いています。強すぎず、優しくすぎず、絶妙な力加減です。



子供たちと種との不思議な出会いは続きます。

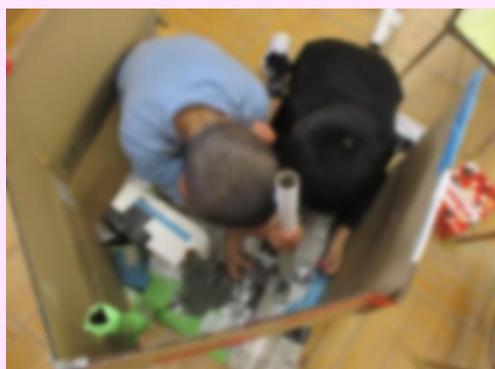
## ねんちょうぐみ～11、12月の遊びから～

秋のお花でのケーキづくり。お花の特徴や色の組み合わせに一人ひとりのこだわりやセンスが光っています。



## 造形展の取り組みご紹介

れいわ4ねん  
ぞうけてん  
みんなぞう作り  
してみよう



年間を通して、絵を描いたり、ものをつくったりすることを楽しんでいる子供たち

年長組の造形展では、  
グループで取り組みます

いろいろな友達の思いや考えに触れ  
互いの良さやステキを感じ



思うようにいかないことも  
互いに話をすることで  
子供なりに解決の方法を  
見つけていく経験ができたと思います



空き箱など身近な素材に  
新たな価値を見つけだし  
見立てて遊んだり  
作ったりする喜びを感じている子供たち

SDGsということ意識していなくても  
自然と多様で豊かな感じ方、見方があふれています  
そんな子供たちに学びたいと思います



## ねんちょうぐみ

～蚕さんが繭から出てきてた！～

ふゆやすみに なるまえに まゆを つくってくれた かいこさん。



きょう（12がつ26にち）、  
1ぴきのかいこさんが  
まゆのなかから  
でてきていました。

せんせいたちも  
おどろきと うれしさで  
おおはしゃぎ！

とにかく  
みんなにみせたくて  
ホームページに  
のせようということに  
なりました。



ここから でてきたんだね。  
がんばって でてきてくれて  
かいこさん ありがとう。

かいこさんの いっしょうは  
“が” になっておわりをむかえるそ  
うです。

つぎの たまごに  
いのちがつながるといいですね。